

児童朝会 校長の話 9月12日

先週の木曜日に「サンバフェスティバル」を行いました。踊り隊も楽器隊も素晴らしかったです。先生たちも頑張りました。応援してくれた皆さんは、盛り上げてくれましたね。保護者の皆さんもたくさん見に来てくださいました。浅草小学校の校庭は本物のサンバカーニバルみたいでした。みんなで力を合わせると素晴らしいことができますね。来年は是非「サンバカーニバル」が行われて欲しいです。

さて、先週の土曜日は十五夜の満月でした。9月から10月にかけての満月は、1年で最もお月見に適した時期で、昔から特別に「中秋の名月」と言われてきました。私は土曜日の夜、千代田区の虎ノ門にいたのですが、きれいな満月が見えました。この写真は同じ虎ノ門から撮った写真で建設中のビルと東京タワーの間にぽっかり満月が浮かんでいます。



次の写真は豊島区から撮った写真ですが、スカイツリーが写っています。台東区にいる皆さんはこんな月が見えたのではないのでしょうか。土曜日に満月を見た人どのくらいいますか？（多くの子供たちが手を挙げました）みんな見ていたのですね。

日本にはお月見の風習がありますが、これは古く今から1200年くらい昔、平安時代から行われていました。「月の宴」といって満月を見ながらお酒を飲んだりごちそうを食べたり音楽を楽しんだり歌を詠んだり…。

土曜日は中秋の名月でしたが、1日前の十四日月のことを「待宵の月」と言います。満月の前日で、明日が楽しみ

待宵の月
中秋の名月
十六夜の月

だなあ。見られるかなあ、とわくわくしながら待つ月です。そして、中秋の名月が1日過ぎた次の日は「十六夜の月」です。月は毎日少しずつ出るのが遅くなります。今日はまだ月が出ないなあ、まだかなあと、月が出るようで出ない、進むようで進まないとためらっているという意味で「いざよい」と読ませます。月にこんな名前があるというのは、いかに昔の人たちが月の出るのを楽しみにしていたか分かりますね。街の明かりなどが無いので真っ暗闇の中で、空を明るく照らす満月を楽しみにしていたのでしょうね。

少しずつ秋らしくなってきましたが、今週から運動会の練習が始まります。今朝から、早速応援団の朝練が始まっていました。いろいろな役割を担ったり、学年の演技を練習したり、みんなで力を合わせて運動会を成功させたいですね。このあと、体育主任の先生から運動会についてお話があります。